

大田の教育を考える会

第24回学習会 2018年5月11日(金)午後6:30~8:00

会場:大田区消費者生活センター 大会議室

(区役所先) JR蒲田駅東口下車徒歩5分

「道徳教育・・・何が問題！」

—今年の4月から小学校で教科に、8月には中学校教科書採択—

講師:宮澤 弘道さん「道徳の教科化を考える会」代表

都内小学校教員で、「教科としての道徳」の問題点を指摘すると共に、教科化された教科書を使って子どもの内面に介入しない授業を研究・実践

今回は、講師に宮澤弘道さんをお迎えします。宮澤さんは小学校教員で「道徳の教科化を考える会」代表であり、若手教育実践家として活動しています。4月から小学校で「教科としての道徳」が開始します。中学は来年度から開始です。今年の6月に中学校道徳教科書の展示会があり、8月には教科書が採択されます。

文科省は「読む道徳ではなく、考え議論する道徳へ」と言ってきましたが、小学校の教科書では、結論を押しつける「読み物」がほとんどです。中学校ではどうなるのでしょうか。また、小学校の教科書では、育鵬社隠しとも考えられる出版社が道徳教科書を作りました（既存の教科書会社だが道徳教科書の編集者に育鵬社関係の編集者が何人も参加）。教科化する中で、評価はどうなるのか？子どもの内面にまで立ち入り一つの価値観をすり込むことにならないのか？様々な疑問や不安の声が上がっています。

安倍政権下、教育委員会制度の改悪、検定制度の改悪が行われており、また森友学園問題に乗じて「教育勅語」の学校現場での使用さえ可能という閣議決定が昨年3月に出されました。

道徳の教科化と教科書問題を考えていきましょう。多くの皆さんの参加をお願いします

大田区平和都市宣言

『平和って なあに
しあわせな ことよ
しあわせって なあに
自由で楽しいくらしができること
だから 世界中の人と 力をあわせて
大切な 平和を守らなければ いけないの
地球上どこへ行っても 笑顔があるように...』



この人類共通の願いをこめて 大田区は
平和憲法を擁護し核兵器のない
平和都市であることを宣言する』

昭和59年8月15日(1984年) 大田区

講師紹介 宮澤 弘道さん

履歴と活動

- ・1977年、東京都生まれ
- ・多摩島嶼地区教職員組合委員長
- ・「道徳の教科化を考える会」代表
- ・現代書館「季刊福祉労働」編集委員
- ・多摩全生園で差別問題、東京大空襲を伝えるなどのボランティア活動

主な著書『「特別の教科 道徳」ってなんだ？

子どもの内面に介入しない授業・評価の実践例—』

(現代書館) 他

(連絡先) **大田区教職員組合**

TEL 03-3737-1241

FAX 03-3737-1324

2017年、8月の小学校道徳教科書の採択では大田区全小学校から学校意見が出され、区民意見も310件集まり東京書籍版が採択。問題出版社版は不採択でした。